

2022(令和 4)年度 エリザベト音楽大学事業計画

教職協働による学生の学習意欲を支援するサポート体制の構築

新型コロナウイルス感染症の終息が見えず、2021 年度も年間をとおして新型コロナウイルスの対応に追われましたが、PCR 検査・抗原検査等の積極的活用、ワクチン接種支援金の支給等を含む感染対策を十分に施し、原則対面授業を行うことができました。さらに定期演奏会（10 月）、クリスマスコンサート（12 月）、そして卒業・修了関連行事等も無事終了することができました。2022 年度も引続き、イエズス会教育精神及び行動標語「音楽をとおして 私が変わり 世界を良くする人になる」に基づく大学教育を行い、円滑な大学運営に努めて参ります。

（1）経営面の計画

1）建学の精神、教育理念の実現のために

- ①研修会、種々の行事等をとおしてイエズス会教育精神を学ぶ。
- ②学生・教職員がアジアのイエズス会学校の状況を知り、慈善演奏会をとおして交流を行う。
- ③国内外カトリック大学連盟加盟大学との連携事業をとおして、建学の精神・教育理念の実現を目指す。

2）大学教育、学生募集への取り組み

- ①2022 年度入学生から適用する新カリキュラムを軌道に乗せる。
- ②コロナ禍での本学の優れた教育及び大学独自の奨学金の広報に努め、学生募集活動に効果的に活用する。

3）長期計画に沿った将来計画の策定

- ①今後 10 年にわたる施設・設備補修計画に基づき、年度毎の補修を実施する。
- ②長期計画の後半に入り、財政計画を修正し、最善方策を追求する。
- ③次期中長期計画についての検討を進める。

4）国際交流の推進

- ①新型コロナウイルス後の国際交流事業、学生の留学支援、留学生の受け入れ等を活性化させる。

5) 創立 75 周年 (2023 年) 記念事業

- ①創立 75 周年記念事業を準備する。

(2) 教学面の計画

1) 教学改革について

[音楽学部]

- ①2022 年度入学生から適用するカリキュラムの見直しに合わせて、講義内容を改めて精査し、卒業後の進路を見据えたプログラムの実質化を図る。
- ②学士課程の 3 つのプログラム及びソリスト奨学生を念頭に入れ、学部との 5 年プログラムを活用するなど、大学院との連携の在り方を検討する。
- ③新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえで、学生及び教員が日頃の成果を発表する演奏・発表の場を創出する。
- ④IR 委員会が中心となり、学生の学修及び学生生活等のデータを収集、分析し、大学運営・広報に活用する。
- ⑤教職課程委員会が中心となり、教職課程自己点検評価を行い、報告書を作成する。

《音楽文化学科》

- ①新カリキュラムにおいてプログラム制を採用し、段階的で効果的な学びに取り組む。
- ②音楽文化学科の学びの魅力を学外に幅広くアピールするための方策を整える。
- ③幼児、親子を対象とした社会貢献活動として音楽を楽しむ場を提供する。
- ④ICT 教育の積極的な導入及び実践を引き続き図る。

《演奏学科》

- ①新しい実技学修システムを円滑に稼働させ、その検証を行う。
- ②教員の演奏技能維持及び研究業績拡充を図るために、学内外での演奏活動を支援し、入学志願者へのアピールを強化する。
- ③大学主催コンサート及び学内での演奏会において、学生が日々の学修を十分に発揮できるように、学科教員全員が協力してサポートを行う。

[大学院]

- ①オンライン等による留学生入学試験を行い、海外からの留学生を確保する。
- ②2022 年度からスタートする学部新カリキュラムとの接続性にも考慮しつつ、大学院カリキュラム改訂に向けて検討を進める。
- ③著名な演奏家・研究者などを招き、公開講座・公開レッスンを実施する。

2) 学生生活支援について

[学生生活]

- ①学生の人的成長と自立を促すため、各種行事を実施し、学生主催行事を支援する。
- ②悩みを抱えた学生、学修不振者、障がいを持った学生について面接等で状況を把握し、学事部学生生活、学生生活主幹、HR 担任、レッスン担当者、学生相談担当、看護師等と連携して支援を進める。
- ③根気強く継続的な指導・支援により学生を支え、退学者・休学者の減少を維持する。

[就職・進学サポート]

- ①学生一人ひとりの卒業、修了後の進路について、キャリア支援室、キャリアサポート委員会、学生生活センター室長、教養・教職主事、HR 担任等が連携して、学生のニーズにあった支援を行う。教職を目指す学生については、教養・教職主事及び教職課程委員会との連携を深める。
- ②学年別の進路オリエンテーション、YouTube を活用した各界で活躍する先輩からのメッセージ等により、学生自らがキャリアについて考える機会を提供する。
- ③学生一人ひとりの進路支援のために、2年次に進路希望調査を行い、3年次及び4年次の全ての学生と面談を行う。日本学生支援機構奨学生（給付型、貸与型）には、早期から就業に対する意識を醸成するための面談機会を増やす。
- ④一般就職を希望する学生には、計画的に活動スケジュールを知らせるとともに、就職活動に必要なスキル向上のための支援を行う。

3) 国内及び国際交流

[国内外の交流]

- ①国内外のカトリック大学との連携・交流活動を計画し、実行する。
- ②学外における留学生支援イベント等での留学生の演奏活動を支援する。
- ③新型コロナウイルスの影響により延期された ASEACCU 国際会議及び研究の国際化に関するオンラインウェビナー・ワークショップに参加する。

[国外交流協定校との交流事業]

- ①クリスマスコンサートの目的をアジアのイエズス会学校に対する支援として実現に努める。
(②四川音楽学院（中国）におけるマスタークラスレッスン・演奏会等の実施。)
(③フィリピンの大学におけるマスタークラスレッスン・演奏会等の実施。)

4) 学生募集活動及び広報活動について

[学生募集活動について]

- ①教職員による様々なチャンネルからの情報収集を継続的に行う。高校訪問、出前授業、音楽指導者とのコンタクト、進学関連業者による高校内での進路ガイダンス、各種音楽セミナー、コンクール、演奏会、ネット媒体などから、鮮度の高い情報を収集し、募集活動に生かす。
- ②遠隔地での大学広報及び情報収集を目的として、大学広報代行業務委託を開始する。九州、山陰、四国など広島県外で音楽指導に従事する卒業生等と業務委託契約を結び、広範囲での継続的な学生募集業務を展開する。
- ③進学ガイダンスについては、中四国・九州エリア 16 都市で、事前予約制による対面レッスン及び個別進学相談を実施する。コロナウイルス感染状況に応じて、臨機応変にリモートでのレッスン及び個別進学相談にも対応する。募集重点エリア及び開拓途上エリアを含め、次のスケジュールで開催する。
5月14日(土)福岡市、15日(日)大分市、22日(日)松山市、
27日(金)岡山市、28日(土)防府市、29日(日)下関市、
6月10日(金)宮崎市、11日(土)鹿児島市、出雲市、12日(日)米子市、
18日(土)長崎市、19日(日)佐賀市、7月16日(土)熊本市、高知市、
17日(日)坂出市、福山市 以上、全16会場の予定。
- ④オープンキャンパスは、夏(6月・7月・8月)、秋、翌春(スプリングフェスティバル)に実施する予定。コロナ禍での開催経験を生かし、事前予約制、来場者の参加イベント事前把握、遠方からの来場に対する交通費補助は継続する。
- ⑤受験生等の要望に応じて、学内見学、ホール体験、進学相談(対面及びリモート)を通年で対応する。

[広報活動について]

- ①広報誌(大学案内、エリザベトアイ他)の制作と配布、各種 SNS (Facebook、LINE@、Instagram) 及び大学 WEB サイトでの情報発信により、継続的に大学の魅力を伝える。
- ②前述の広報代行業務委託契約受託者と連携し、広範囲にわたる情報発信を行う。
- ③学生募集につながる外部団体(広島県合唱連盟、全日本ピアノ指導者協会、全日本吹奏楽連盟他)との関係強化により大学の魅力発信と情報収集を図る。
- ④広島県・市、教育ネットワーク中国等各種団体の主催イベントに協力する(県立美術館コンサート、市役所コンサート、シャレオ大学生コンサート他)。
- ⑤同窓会と連携し、全国に広がる卒業生ネットワークを生かした情報発信に取り組む。
- ⑥キャンパスリポーター他学生による大学情報の発信を支援する。

5) 教職員研修(SD・FD)について

- ①自己評価・FD運営委員会他が中心となり、ゴーセンス記念講演研修会(4月)、教職員研修会(9月)、その他FD・SD研修会及び授業参観等を計画・実施する。
- ②教職員を(オンライン)研修会等へ参加させ、そのフィードバックを共有することで、研修の成果をより多くの教職員の業務に生かす。

6) 創立75周年記念事業

- ①毎年、宗教合唱曲を国内外の作曲家に委嘱する事業を継続し、2023年度に創立75周年記念宗教合唱曲集を刊行する。
- ②創立75周年ドイツ・ベルギー演奏会計画の推進。
- ③創立75周年記念誌(2023年11月刊行予定)の編集作業を進める。

7) 演奏活動

- ①下記大学主催演奏会を実施するとともに、教員及び学生による各種演奏会開催を支援する。
- ②専任教員がソリストを務める「創立75周年記念コンサートシリーズ」第1回演奏会を実施する。

【2022年度エリザベト音楽大学コンサートスケジュール】

日程	演奏会名・行事名・会場・出演者
4/9(土)	第5回エスポワール新人演奏会(セシリアホール) (エリザベト音楽大学・くらしき作陽大学間包括交流協定事業) 両大学交互に担当・開催。2022年はエリザベト音楽大学。 出演:両大学から選ばれた新卒者
6/25(土)	エリザベト音楽大学コンサートシリーズⅠ「スピリチュアルコンサート」 (セシリアホール) 共催:(公社)日本産業退職者協会広島支部 出演:トランペット:小林 鴻 他
10/14(金)	エリザベト音楽大学コンサートシリーズⅡ「イラーチェック・フォン・アルニン・ヤン客員教授ピアノリサイタル」(セシリアホール)
10/28(金)	第81回定期演奏会(JMSアステールプラザ大ホール) 出演:ピアノソロはオーディションによる選抜学生 指揮:飯森範親 演奏:エリザベト音楽大学交響楽団
12/10(土)	チャリティークリスマスコンサート(セシリアホール) 指揮:大谷研二、寺沢希 演奏:エリザベト音楽大学合唱団
3/3(金)予定	春季大学院新人演奏会(セシリアホール) 出演:春季修了生から選抜

3/5(日)	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業研究発表・演奏会 音楽文化学科(ザビエルホール) 出演:卒業生から選抜 ・卒業演奏会 演奏学科(セシリアホール) 出演:卒業生から選抜
3/10(金)	<p>創立 75 周年記念コンサートシリーズ 第 1 回演奏会 (広島文化学園 HBG ホール)</p> <p>出演:本学教員 指揮:太田 弦 演奏:広島交響楽団</p>

(3) 管理面の計画

1) 施設設備改修と建物長期計画について

①建物の長期更新計画に基づき、計画的な施設設備の改修を行う。

2) 委託業務(清掃、寮管理、西条管理、その他)について

①業務内容の検証及び再検討を継続して行う。

3) 西条キャンパスの将来計画(土地、建物、設備)について

①西条キャンパスの在り方や活用について、幟町キャンパス校舎建て替えと合わせて検討する。

4) 女子学生寮(セシリアホーム)の管理運営について

- ①新型コロナウイルス感染防止を徹底する他、実態調査により改善点を見つける。
- ②委託業者による寮監と連携して学生の指導を徹底し、寮生活の質の向上を図る。

5) 付属音楽園・エクステンションセンター事業について

- ①音楽園生獲得の取り組みを継続する。
- ②受講生が見込めるエクステンションセンター講座を開発する。

6) 財務について

- ①1号館(セシリアホール)及び本館の建て替えに備え、基本金積立原資の確保に努める。
- ②経常収支差額の確保のため、教育活動収支における赤字の削減を図る。

以上